

# 【国際経済】 小森谷 徳純(こもりや よしまさ)



演習テーマ：国際貿易と多国籍企業に関する諸問題

## <活動内容>

このゼミの目的は国際経済(主として国際貿易、多国籍企業)の研究を通じて、問題点を発見する力、適切な方法を用いて考える力、そして自らの意見を他者に伝える力を習得することです。一部の例外的な人を除くと、みなさんは経済学のプロになるわけではありません。しかしここで得た力は実社会で応用できるものですから、そのつもりで真剣に取り組んで欲しいと思います。

まずは国際経済学(特に国際貿易)や多国籍企業論(履修者の興味によっては他の内容)を学びます。そしてグループ論文を通じて問題発見力、分析力や発表力を習得し、集大成となる演習論文でそれらの力を個々に実践します。なおグループ論文のテーマは国際経済に関することに限りませんが、演習論文のテーマは自由です。経済学を用いて、“なぜ?”と思うことに納得が行くまで向き合ってください。3年間の活動スケジュールは以下の通りです。

・2年次：国際経済学の基礎知識を学ぶ。国際貿易や多国籍企業に関する知識を身に着ける。ゼミ報告の仕方を習得する。演習2以降で研究してみたい課題を検討する。2018年度より通年化されたので、日本経済論やデータ分析の初歩を学ぶことにも時間を割く。

・3年次前期：国際経済学の発展知識と多国籍企業論(履修者の興味によっては他の内容)を学ぶ。グループ論文のテーマを決定し、研究を開始する。

・3年次後期：グループ論文を執筆する。他大学との合同発表会(2017年度は学習院、慶應義塾、上智、福島、法政、早稲田が参加)や外部の論文発表会(2017度はWest論文研究発表会)でグループ論文を報告する。演習論文のテーマを検討する。

・4年次後期：演習論文を執筆する。(ただしこれ以前から準備は始めておく。)

上記以外にもサブゼミ(演習1後期と演習2前期は必須)や合宿(年1~2回)を予定しています。夏合宿は毎年行い、グループ論文や演習論文の進捗状況を報告する機会にします。なお学年の間の見えない壁を壊すため、2~3年生の合同ゼミも可能な限り行うつもりです。学部内の他ゼミとも交流していきます。

## <ゼミ紹介>

このゼミは2009年の春に誕生しましたが、私の在外研究のため2年間活動を休止し、2016年の春に再開しました。2016年度に演習2へ参加した学生が第6期生、演習1へ参加した学生が第7期生です。第6期生は演習2の中で「国際貿易における災害の影響 ～工程間分業を通じた国際貿易の変化について～」というテーマでグループ研究を行い、2016年12月に慶應義塾・大東ゼミ、学習院・棕ゼミ、上智・蓬田ゼミ、法政・武智ゼミ、早稲田・市田ゼミとのインゼミに参加しました。写真(左)はそのひとコマです。このインゼミは各ゼミが交代でホスト校を務めており、過去には中央大学でも開催しています。

現在(2017年11月)の3年生(第7期生)は3つのグループに分かれて、それぞれ「アジアからの対日直接投資の促進」、「移民問題」、「越境ECにおける情報の非対称性」というテーマで研究、論文の執筆を行っています。第7期生はインゼミ(今年は福島大学の荒ゼミも参加)に加えて、学部プレゼン大会とWest論文研究発表会にも参加をします。少々忙しいですが、ゼミ卒業生との交流も兼ねて、彼らの前で研究を報告する機会も作りたいと考えています。

写真(右)は第7期生と第8期生(2017年度に演習1へ参加)の集合写真です。第8期生も例年同様グループ研究を行いますが、そのうち少なくとも1グループは来年度中に海外へ出かけます。これは一定数の希望者がいるためです。研究を英語でまとめて報告するのは簡単なことではありませんが、自らの決めたからには最後まで頑張りたいと思います。

ゼミにとって重要な行事である合宿ですが、2017年3月に第7期生と箱根温泉(神奈川県箱根町)で春合宿を行いました。2017年度は残念ながら夏合宿を開催できませんでしたが、そのかわりに演習論文とグループ論文の研究報告会を全学年参加の合宿として開催する予定です。

演習は通常の講義とは比べ物にならないほど、教室の内外で非常に多くの時間を費やす必要があります。みなさんの時間は残念ながら有限ですから、様々なトレードオフに直面することが必ずあります。そんなときゼミを最優先にする覚悟を持った学生に出会えれば幸せです！